

里山学研究センター研究交流会

——台湾の国立政治大学との交流——

龍谷大学政策学部・准教授 里山学研究センター・センター長

谷垣 岳人

里山学研究センター・博士研究員

太田 真人

I. はじめに

森のある大学 龍谷大学里山学研究センターは、2023年6月15日（木）に王信實氏（国立政治大学経済学部・副教授）との間で研究交流会を実施した。

II. 概要

本研究交流会の概要は、次の通りである。

【日 時】 2023年6月13日（木）10時00分～12時00分

【場 所】 和顔館5階会議室（対面）

【内 容】 「龍谷の森」および里山学研究センターの概要、2023年度の研究活動の内容の紹介、研究に関する意見交換

【参加者（里山学研究センター）】

谷垣岳人氏（龍谷大学政策学部・准教授 里山学研究センター・センター長）

太田真人氏（里山学研究センター・博士研究員）

眞田章午氏（里山学研究センター・研究補助員）

【参加者（国立政治大学）】 王信實氏（国立政治大学経済学部・副教授）

【通 訳】 金紅実氏（龍谷大学政策学部・准教授）

III. 研究交流会の内容

本研究交流会は、谷垣岳人氏（龍谷大学政策学部・准教授 里山学研究センター・センター長）が「龍谷の森」および里山学研究センターの概要、2023年度の研究活動の内容などを紹介し、王信實氏（国立政治大学経済学部・副教授）が適宜、質問・コメントをしつつ参加者間で意見交換をするという形で進行した。

谷垣氏は、◇「龍谷の森」の歴史の変遷、◇「龍谷の森」での文理融合型研究の内容、◇「龍谷の森」における協働型里山管理の方法、◇「龍谷の森」での環境教育活動の具体例、◇里山学研究センターの歩みと里山に関係する国内外の情勢、◇2023年度における里山学研究センターの研究テーマ（「生物多様性保全活動におけるボトルネックの解明とその実践的克服に

関する研究) 及び研究活動の内容などを説明した。

王氏は、谷垣氏の説明を受けつつ、▼保全の観点から「龍谷の森」とその周辺の森との関係、▼「龍谷の森」での環境教育の内容、▼「龍谷の森」での研究活動と市民活動のゾーニングの状況、▼里山とSATOYAMAの違い、▼里山学研究センターは文理融合型研究の難しさに対応してきたのか、▼里山学研究センターのメンバーの役割（研究メンバーとしてやらなければならないことは何か）などについて質問した。また、王氏は、▼森林の可視化を促進すること、▼（台湾の森林はオーバーユース、日本の森林はアンダーユースが主に問題になっており、この点も踏まえて）経済的指標からみた森林の価値を再考すること、▼文理融合型の研究や地域に根付いた活動を行っている里山学研究センターから学びを得られること等のコメントをした。

本研究交流会は終始、和やかな雰囲気のもとで行われ、「里山」にまつわる様々な話題が参加者間で出された。

（報告：眞田 章午（里山学研究センター・研究補助員））